

長野県岡谷工業高等学校

創立 110 周年記念事業概要

①合宿所整備事業

校舎北側にある合宿所は、建設から 40 年近くを経過し、運動部を中心に環境整備の要望が出ていた。通年で合宿が可能となるように、宿泊スペースに大型のエアコンを 3 台設置。建設当時から和式だったトイレを全面的に改修し、洋式トイレ 3 基に変更。シャワールームは老朽化が目立つため、同窓会館内の浴場を改修することにした。

②同窓会館浴場改修事業

合宿所のシャワールームの老朽化により、現地での改修をせず、同窓会館内にある浴場改修で合宿する選手の利便性を高めた。同窓会館の浴場は、学校創立 70 周年記念事業として建設したが、ほとんど使用されずに物置状態となっていた。このため、整理作業を進めて不用品を処分したが、建設から 40 年を経過して浴場としての機能が不十分だったため、湯舟と床のタイル以外はすべて改修し、ボイラー設備も一新した。湯舟については、バレー部やラグビー部などの大型選手でも 4、5 人は入ることが可能。また、シャワーも 3 基新調。脱衣場も全面的に改修した。

③同窓会館カーテン取り換え事業

同窓会館の 1 階ホールと 2 階大会議室のカーテンを取り換えた。ホールは、夏休み中に県内外から合宿に来校する他高校も多く、食堂やミーティングルームとして使用。2 階についても各種会議に貸し出されていることも多いため、40 年ぶりに一新した。なお、合宿所、浴場については合宿に訪れる他校選手にも使用してもらう予定。

④「製糸業と諏訪蚕糸野球」展

岡谷市主催、岡谷工業高校・一般社団法人岡谷工業高校同窓会共催、長野県立歴史館協力により 7 月 15 日から 11 月 14 日までの 4 カ月間、岡谷市岡谷蚕糸博物館で開催。長野県地域発元気づくり支援金活用事業として開催。平成 29 年（2017）に同窓会館から見つかった野球に関する書簡、手紙、名刺、電報を整理したところ、昭和初期に黄金時代を迎えた諏訪蚕糸野球部が、平野村を中心にした製糸家らの物心両面での絶大なバックアップがあって実力を付けたことが判明。従来から同窓会で保存している大正時代から残るボール、バットなどのほか、学校に保管されているカイコの紙模型、カイコの病気標本、繭を量った枴など教材、現在の在校生が制作したロボット、マイコンカーなども展示公開する。諏訪蚕糸野球部の御子柴三郎・初代部長が

長く保管していたもので書簡、手紙などは岡谷工高関係者を含めて一般に初公開。また、元気づくり支援金活用事業の指定を受けており、岡谷市が主催する岡谷ものづくり体験講座に岡谷工高生が補助として協力。講座では電子回路組み立て、人工イクラ作りを行うワークショップ、プログラミング講座などが計画されている。(別紙資料で説明)

⑤ 110周年記念マレットゴルフ大会

同窓会員対象。10月6日に岡谷湖畔公園マレットゴルフ場で開催

⑥ 110周年記念ゴルフ大会

同窓会員対象。10月24日に茅野市の三井の森カントリークラブで開催

⑦ 110周年記念ギャラリー展

10月15日から17日までの3日間、岡谷市のイルフプラザカルチャーセンターで開催。同窓会員から絵画、立体造形、書、工芸、写真などを募集し、一般に展示公開。創立100周年でも実施

⑧ 110周年記念式典

10月16日に岡谷カノラホールで開催予定

⑨ 110周年記念講演会

記念式典に続いて開催。講師はSUWA小型ロケットプロジェクトリーダーで信州大学工学部の中山昇准教授を予定。演題は「宇宙目指し地球に夢を」(仮称)。コロナ感染の状況を見ながら、一般公開講座とすることも考慮

⑩ 110周年記念祝賀会

10月16日、記念講演会終了後に岡谷市中央通りのメモリーで開催

⑪ 記念誌の発行

※なお⑧⑨⑩については新型コロナウイルスの感染状況によって、中止とする可能性もある。

令和3年6月9日

長野県岡谷工業高等学校

創立110周年記念事業実行委員会